



皆さんこんにちは！**鶴岡高専保健センター**です。以前は“保健管理センター”や“学生支援センター”と呼ばれてきましたが、組織内容に変更があったため、2014年度から“保健センター”と改称しました。「何がどう変更されたの？(°~°)ゞ」なんて、細かいコトは置いておきましょうね…。活動の目的は、今までと少しも変わりません。**学生・教職員の方々が“心身ともに健康でいられること”のお手伝い、これこそが使命です。**

さて、この4月から“おたより”を作成して鶴岡高専HPに掲載してゆくことになりました。執筆している私は、保健センター付きの教員で山田充昭と申します。今後、よろしくお付き合いくださいね！第一号となる今回は、主に保健センターの紹介をさせていただきます。

1. 保健室と相談室

保健センターの拠点は、厚生会館（学校食堂のある建物）2Fの**保健室と相談室**。

保健室で看護師の村山さんが、**学生・教職員の負傷や発病にいつでも対応します**。「薬ください」「血圧測らせてください」「マスクもらえませんか」…。村山さんは、連日大活躍なのです。風邪が流行する季節などには、体調不良者が休憩できる3台のベッドもフル稼働。使ったことのある皆さん、寝ゴゴチはいかがでしたか？そうそう、“お昼寝用”ではないので、あしからずo(>_<)o

保健室に隣接する**相談室（第一相談室）**では、**学生・教職員の皆さんからの、また、学校生活に関するコトであれば保護者の方々からも、様々な心配事・悩**



[保健室 体調不良者休憩用ベッド]

み事の相談を受け付けています。部屋の中には、来談者用応接セット（かなり快適♪）、自習用ブース（デスク・チェアー・PC完備！要使用申請）、資料保管用ブース（関係者以外立入禁止）などがあります。ちなみに、筆者は資料保管用ブースにこもって仕事をしてるんですが、疲れると、よく応接セットでゴロゴロします♪

昨年度からは、利用者増加に伴い**第二相談室**もできたので、二つの相談室に保健室が挟まれるような配置となっております。「相談室のドアって何かノックしづらい...(-ω-)ウーン」という方もご安心ください。いずれの相談室にも、保健室の中から入れるつくりになってますからね！



【第一相談室 来談者用応接セット】



【第一相談室 自習用ブース】

私は、個人的にも保健室や相談室が大好き！ランチタイム以外は人通りが少なく落ち着けるし、日当たり良く明るいし...、そしてなんとと言っても、冬季暖房のきき具合が最高！うすら寒い校舎内において、まさにパラダイスですね（←**保健センターのセールスポイント！**）。冬場、来室者の第一声「うわぁ♪暖かぁ～い、(^◇^*)」を耳にすると、心の中で「フフッ(´▽`)ニヤ」とほくそ笑んだりしてます。

2. 保健センタースタッフ

保健センターは、次の[表 保健センタースタッフ]に見られるように、各学科選出の教員、指定専門役職の常勤・非常勤職員で構成されています。学生の皆さんは、教室内等の掲示物“保健センターは相談の窓口です！”で、保健センタースタッフの顔写真を目にしたことがあるかもしれませんね。私たち全員が、相談室の相談員を兼ねています。ですから、学生・教職員の皆さんからの相談は、保健室や相談室だけでなく、各スタッフの教員室・研究室・勤務部署のいずれでも受け付けられるんです。「この人なら波長が合うなあ～(*^-^)」というスタッフがいれば、話しやすいというものですよね。

[表 保健センタースタッフ]

役職等	氏名	所属等
保健センター長	山田 充昭	総合科学科 教員
副保健センター長	戸嶋 茂郎	物質工学科 教員
カウンセラー（臨床心理士）	加藤 早苗	非常勤職員（水曜日 15:00～17:00）
センター員	大西 宏昌	総合科学科 教員
センター員	斎藤 菜摘	総合科学科 教員
センター員	五十嵐 幸徳	機械工学科 教員
センター員	保科 紳一郎	電気電子工学科 教員
センター員	渡部 誠二	制御情報工学科 教員
センター員・看護師	村山 智子	学生課 常勤職員
センター員・寮監	八幡 喜代志	学生 課非常勤職員（10:45～17:00）

保健センターには、相談のプロフェッショナルであるカウンセラーもいます（←ココも、**保健センターのセールスポイント!**）。加藤先生は、ものすごく話しやすい先生で、カウンセリングというかたちでなく、雑談でも歓迎してくれます。毎週水曜2時間限りの非常勤なのが残念で仕方ありません。「加藤先生とお話ししてみたい！」という方は、保健室に連絡して予約を入れてくださいね。

カウンセラーによるカウンセリングに限らず、保健センターで受け付けた相談については、**秘密厳守をお約束します。**自傷・他害（生命を著しく傷つけ、損なわせる危険性が高いもの）に関わるものでなければ、常にトップシークレット！「相談したら、内容が多くの人に知られちゃうかも...（「ㄟ」；；）」と感じている方も、安心してくださいね。

3. “ひだまり”について

スタッフの会議で、「おたよりを発行しよう！」と決まってから数日後、保健室での会話。

山田 「村山さん、書棚にあるこの辺の本見てもいいですか？」

村山 「あれっ、先生何かお勉強するんですか～(*^-^)?」

山田 「う～ん、“保健センターだより”だけだと、かたつくるしいからネーミングをね…」

村山 「ああ その参考に…なんですね」

山田 「そうそう(*^-^) でも、僕はこういうのセンス無いんすよねえ～ なんかないかなあ…」
居合わせた学生 「“ひだまり”…とか、どうかな？」

山田 「おおっ、決定！それもらっちゃうね…サンクス！♪(*^-^)/」

こんな流れで、“おたより”は“ひだまり”と呼ばれることになりました。名付け親は、保健室に居合わせた学生なんです。“ひだまり”という言葉の響きに、「ピン d(^-^)」ときて即決でした！

せかっくもらった名前なので、この“ひだまり”が、そして保健センターそのものが、学生・教職員の皆さんにとって柔らかく暖かな、文字通りひだまりとなるよう、がんばりたいと思ってます。

[というわけで、ここでの文章表現も、基本的にはカタサを取り除くよう意識してます！]



- ご相談・お問い合わせは、下記の電話やメールでも受け付けております。
- 本校学生・教職員の皆様のあらゆる相談をお受けいたします。
- 在籍学生に関することであれば、保護者や学外の方々からの相談もお受けいたします。

鶴岡高专保健センター 保健室 Tel 0235-25-9030 (担当 村山智子)

第一相談室 Tel 0235-25-9031 (担当 山田充昭)

相談受付 Mail アドレス soudan@tsuruoka-nct.ac.jp